

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名：東川町観光協会 所在地：北海道上川郡東川町東町1丁目1番15号 TEL/FAX：TEL 0166-82-3761 FAX 0166-82-4764 担当者：事務局長 鬼塚 幹雄 メールアドレス：onitsuka.mikio@town.higashikawa.hokkaido.jp 登録旅行業：第 ー 号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA 会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号：	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">1</div>
--	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
ひがしかわDE水みずしいゆとり旅 ～「水の町」×「写真の町」にしかできない思い出写真づくり体験ツアー～ 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 環境省の「平成の名水百選」にも選定された大雪山の自然が創りあげた銘水。ミネラルが豊富にバランスよく含まれ、水温も約6～7℃と通年で一定で、1日に約4,600リットルもこんこんと湧出する大自然からの贈り物です。	北海道	大雪山国立公園（旭岳地区・天人峡地区）及び東川町内

【日程】	二泊三日		
【旅の目的】	大雪山から湧き出す水をテーマに、東川のおいしい水が湧出する過程に沿って、旭岳中腹から町内市街地までの水に所縁ある観光スポットを回ります。実際においしい水を試飲してもらうだけでなく、山や温泉、農業体験さらには写真の町ならではの写真現像体験まで東川町の持つ水資源スポットを絡ませ、心身ともにリフレッシュしてもらうことを目的とします。		
【実施時期】	通年	【催行人員】	8名（最少催行人員：2名）
【原価】	内 訳		
	25,600円～ （大人1名）	・宿泊費（8,000円～）×2日分（2泊3日6食） ・屋敷費 800円×2日分 ・ロープウェイ代（1,000円～・夏期、冬季で料金変動） ・各種体験料 平均3,000円 ・写真現像体験 4,000円（指導料・カメラ代・印画紙代・薬品利用代含）	
【販売価格】	円 （旅行業登録のある場合のみ記入）	【子供料金】	有（円/1名）・無 （旅行業登録のある場合のみ記入）

【旅行企画のセールスポイント】

東川町は大雪山国立公園の麓にあり、北海道最高峰の旭岳(2,291m)を有する自然豊かな町です。北海道の屋根、大雪山連峰の最高峰「旭岳」の雪解け水が大地にしみ込み、何十年とも何百年とも言われる年月を重ね、天然ミネラル水として湧き出ており、全国的にも珍しい北海道唯一の上水道のない町です。

この大雪山からの伏流水は、森の木々や多くの動植物を育み、私たちの生活にも無くてはならない「命の水」です。この命の水は「大雪山旭岳源水」と称され大雪山の自然が創りあげた銘水として多くの方々にも愛されています。平成20年6月には環境省により「平成の名水百選」にも選ばれました。

農業を基幹産業とする東川町は、この水と豊かな大地により美味しい多くの農産物が収穫され、また、それら農産物を利用した加工品や、美味しい水を使ったお店なども多くあります。このように、私たちはこの大雪山の恵みに感謝し、日々「大雪山の天然ミネラル水」と共に生活を送っています。

今回は、このおいしい水を皆さんに十分堪能してもらえるようなテーマで行程を組んでみました。東川の「水」の原点である大雪山を散策し、その後は旭岳温泉と天人峡温泉で宿泊していただき、心も体もリフレッシュしていただきます。

アクティビティでは、大雪山麓に平成19年に完成した忠別ダム周辺にて、カヌー遊びや釣りなどができ、冬には大雪山系などでのスノーシュー体験などを満喫することができます。そして、この自然の恵みを生業としている農業体験や、この豊かな大地で創作活動をおこなっている陶芸家、木工家の達人たちと創作体験メニューをご用意しています。

旅のラストには、旅の初めにお渡しするフィルムカメラで旅行中の様々な思い出を写真に収め、「写真の町」を宣言している東川町ならではのメニューとして、写真現像を体験することができます。スローでゆったりとした時間の流れを楽しみながら、東川の水を堪能する「水みずしい旅」をしてみませんか？

【企画協力（後援）機関・団体名/主な役割】	
①東川町/観光情報の提供	③ひがしかわDE体験感動事務局（有）アグリテック/体験観光事業の実施
②東川町観光地活性化雇用創造協議会/体験観光メニューの開発	④ひがしかわグリーンツーリズム推進協議会/農村体験の提供
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	◆全国で上水道がなく、地下水を飲用している市町村は6自治体あり、東川町はその数少ない自治体の1つです。 ◆「写真の町」ひがしかわ株主制度により、エコプロジェクト「水と環境を守る森づくり事業」に取り組んでいます。 ◆ひがしかわグリーンツーリズム推進協議会を通じ、道内外の小中学校の農村体験の受け入れを積極的に行っています。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	=【東川道の駅集合】=【旭岳源水試飲】=【旭岳散策】（自然ガイド付き・ロープウェイにて北海道最高峰の山へ）=【旭岳温泉泊】 ※はじめに、集合場所にて試飲用のペットボトルと最終日に行なう初心者でも使える写真現像体験用のモノクロカメラ（使い捨て）をお渡しします。
2日目	【旭岳温泉発】=（冬）旭岳散策（スノーシュー体験） =【スローフードなお店にて昼食】 =【羽衣の滝見学】 =（春～秋）忠別ダム見学（カヌー・釣りなど） =【天人峡温泉泊】
3日目	【天人峡温泉発】 =【町内で選択体験観光】 =【ラーメン】 =【写真現像体験】 =【終了】 （春～秋）農村体験【冬】スノーモービル体験【通年】木工・陶芸等インドア体験） = または【旭山動物園観光】 ※「写真現像体験」にてお渡ししていたカメラで撮影したものを東川の水で現像し、思い出づくりをおこないます。

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など）】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
<大雪山系と旭岳そして温泉> 	<羽衣の滝（羽衣伝説）> 	<大雪山旭岳源水> 
【コメント】 北海道最高峰の旭岳(2291m)をはじめとする大雪山系は国内最大の国立公園。雪質日本一の異名もとるほど澄んだ雪は、雪解け水として東川の水の出発点ともなっています。その山麓部には旭岳温泉と、古い歴史を持つ天人峡温泉。東川町が誇るこの温泉ももちろん地下水から生まれています。温泉に浸かって体も心も安らげます。	【コメント】 東川町天人峡地区。天人峡温泉近くにある北海道一の270mの落差を誇る羽衣の滝。この滝には、天女を助けたお礼に羽衣の舞を踊ると小さな滝が羽衣形をした大きな形になりました。そのおかげで水が潤い狩猟が苦手だった主人公の弓人は稲作を始めたというお話があります。	【コメント】 「平成の水百選」にも選ばれている「大雪山旭岳源水」。大雪山に降った雪が何千年、何万年を経て大自然の天然フィルターによって地中でろ過され、地上へ湧き出ています。大自然からの神秘的な贈り物です。水汲み場として整備されており、周辺は散策路もあります。ペットボトルでの販売も行っております。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
<写真現像体験> 	<全戸地下水の水の町> 	<大雪山伏流水の農産物と美味しい水を利用した加工品やお店> 
【コメント】 ○「水の町」東川町だから水の品質が違う！塩素消毒された水道水と違って東川の天然地下水で洗浄するから、100年経っても色あせない！ ○「写真の町」東川町だから暗室が充実！ここまで充実した暗室は全国探してもここだけ。ラッキーやフジなどの年代ものの引き伸ばし機をはじめ、現像することができます。	【コメント】 東川町は豊富な美味しい地下水を飲用している、道内で唯一、「水道のないまち」。そんな暮らしの水を身近に体験できるようにと、道の駅ひがしかわ「道草館」と郷土資料館前並びに町内の児童公園内に地下水を汲み上げる「ガチャポン」を設置しております。水の町であることのシンボルにもなっております。	【コメント】 農業の町でもある東川町は、この美味しい地下水と大雪山の伏流水を利用して生産されるお米や野菜は、みずみずしさ満点。その美味しい水でつくられた農産物と、美味しい水によって生まれる加工品も絶品。豆腐や町内産お米でつくられる米パンや米粉シフォンケーキ、そして美味しい水の町で営む飲食店もたくさんあります。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成 22 年 2 月 25 日

【応募者】 団体名 : 社団法人 定山溪観光協会 所在地 : 札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL/FAX : TEL 011-598-2012 FAX 011-598-2029 担当者 : 山田 秀明 (ヤマダ ヒデアキ) メールアドレス : kankouyoukai@jyozankei.com 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">2</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
みずがめ / さっぽろの大切な森[水源の里・定山溪]	北海道	定山溪温泉
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 人間も生態系の一員であるとの視点から自然環境保護のダム。札幌市街地の水害を防ぐため、市民の水道水を確保するため、水力発電をするため、近隣に水質汚染の要因がない(大規模な農園やレジャー施設等)環境であり、「札幌の水は綺麗だ」と言われる由縁の水源。定山湖(豊平峡ダムの貯水池)はダム湖百選に選定され、豊平峡ダム流域の国有林(奥定山溪水源の森)が水源の森百選に選定される。		

【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()		
【旅の目的】	人の生活と自然との調和・共存をめざす、気持ちのよい観光。大都市の近隣に在りながら、美しい水源地域環境で「学び」「楽しみ」、その環境に根付いている温泉旅館で「ゆったり」していただきたい。		
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 6月~8月の間)	【催行人員】	45名 (最少催行人員: 20名)
【原価】	内訳 宿泊代 6500円/人(1泊2食)、カヌー代大人 2000円/人、ガイド料(2日分)700円/人、ガイド料(野の花散策)250円/人、バス代 4000円/人、昼食代(2日目)3000円/人、電気バス代 540円/人、支笏湖駐車場 82円/人		
【販売価格】	17,072円 (大人1名)	【子供料金】	有 (_____ 円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

◇札幌の下流から上流へさかのぼり、札幌の水瓶(みずがめ)へ向かう旅です。
 ◇1日目は約20mの深緑の壁の中をカナディアンカヌー体験。まずはゆっくり札幌の水に浮かんでいただき、ゆったりと絶景の中を堪能していただけます。
 ◇1日目の野の花散策では、綺麗な水を吸った美しくひっそりと咲き並ぶ山野草の物語を語りながら名物ガイドがご案内いたします。リッチな大人の時間です。
 ◇宿は部屋食と源泉掛け流しの温泉でゆったりとお過ごしいただけます。(渓谷を眺めながらの露天風呂あり)
 ◇2日目のダム見学では、普段では観光出来ない場所が見学でき、また日本全国でも珍しい観光放流が見られます。この放流の迫力は是非見ていただきたい。人工と自然の力が大迫力で交差し、また、大量のマイナスイオンが発生しております。昼食は貸切りでダム敷地内にありますレストランの屋外で定山溪湖を前にジンギスカンを楽しんでいただけます。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	① 豊平峡・定山溪ダム水源地域ビジョン推進会議 (みずもり会議) / ダム及び豊平川の案内、自然環境の説明等ガイド全般	④ アミューズメント北海道株式会社 / カヌー全般
	② 豊平峡ダム統括管理事務所 / ダム内部の案内、ダム管理説明	⑤ 定山溪「山野草の会」 会長 一條晋 / 野の花散策ガイド
	③ 定山溪温泉旅館組合 / 宿泊施設	⑥ /
		⑦ /

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	◇豊平峡ダムの観光放流は、気象条件等により行わない日もございます。 ◇豊平峡ダム駐車場に到着後、環境保護のため電気バスにお乗り換えいただけます。 ◇豊平峡ダム見学はアップダウンの歩行がございますので、ご健康な方のみご参加願います。 ◇カヌーは天候等により中止の場合もございます。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	新千歳空港 (11時出発) === 支笏湖(1時間) (各自ご昼食) === (2コースに分かれます) === カヌー体験(1時間) (14時着) 二見公園(野の花散策1時間) (14時頃着) ===== お宿 (16時着) (ローテーションいたします。)
2日目	お宿 (9時半出発) ===== 定山溪ダム資料館(50分) (9時40分着) ===== 豊平峡ダム-----ダム内見学(40分)-----ダム内昼食----- (11時着) 貸切屋外バーベキュー -----観光放流 (14時頃出発) ===== 新千歳空港 (16時半頃着)
備考	バス===== 徒歩(一部電気バス含む)-----

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】 豊平峡ダム  <p>【コメント】 札幌市街地の水害を防ぐため、市民の水道水を確保するため、そして水力発電をするために、豊平川にこのダムが作られました(1972年完成)。政令指定都市で、水源地域とダムを持っているのは札幌市だけです。広大な国有林の中のダムと壮大な自然景観は圧巻です。豊平峡ダム流域の国有林(奥定山溪水源の森)が水源の森百選に選定されています。</p>	【ポイント2】 カヌー体験  <p>【コメント】 定山溪温泉各施設から車で約3分という近さに、お子様やどなたでも簡単にカヌーが楽しめます。スリルも良いですが、美しい森の中をゆったり浮かべるカナディアンカヌーは定山溪に相応しいスポーツです。年間約2万人が利用する大人気のスポットです。</p>	【ポイント3】 山野草  <p>【コメント】 「懸崖の谷間を引き裂くかのように、轟々とたぎりおちる滝。水煙に包まれる清涼感、滴る緑。山野草・湯の里・定山溪の夏 自然のあらゆるものが、あらゆる瞬間が人間の感性を育みます。にぎやかな街をはなれ、さわやかな定山溪にすべり込めば清流のせせらぎとそよ風にゆれる花々があなたの心をほぐします」 山野草・湯の里・定山溪『花遊』より。文：一條晋</p>
【ポイント4】 野の花散策  <p>【コメント】 温泉街の西側にはのんびりと森林浴が楽しめる散策路「二見・定山の道」があります。100種類の以上の山野草が生息しており、四季折々の花を観察できます。名物ガイド、「定山溪山野草の会」の会長、一條晋がご案内いたします。</p>	【ポイント5】 二見吊橋(散策ルート)  <p>【コメント】 散策路の途中にある赤い吊橋。吊橋から眺める風景はもちろんです、ここ、豊平川から眺めるこの吊橋を通した山々の風景が絵になるのです。定山溪を象徴する景観場所のひとつでもあります。2009年、日本経済新聞社の調査で「渡ってみたい吊橋」にこの橋の名前が載りました。特に紅葉シーズンの9・10月には多くのプロ・セミプロのカメラマンがここを訪れます。</p>	【ポイント6】 定山溪温泉旅館  <p>【コメント】 定山溪温泉は温泉開発に生涯を捧げ、現在の礎を築いた備前国出身の修験僧美泉定山にちなんで命名されました。いまからおよそ140年前の慶応2年、アイヌに先導された定山が源泉に出会い、自ら湯守となり定山溪の開発と発展に尽力したのです。以来、豊かなお湯とその恵まれた自然環境で、北海道有数の温泉地と知られ、現在は個性さまざまな18施設の旅館がお客様に愛され続けております。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

2010年1月21日

【応募者】 団体名 : 青森通リズム株式会社 所在地 : 青森県八戸市鮫町小舟渡平19-9 TEL/FAX : TEL:0178-35-1919 FAX:0178-35-1920 担当者 : 前澤 茂晴 メールアドレス : maesawa@aomori-tourism.jp	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">3</div>
登録旅行業 : 第3-135号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号: 30000429	

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
未知の国の 水と遊び 水を知る旅 八甲田山の四季が創る青森の水の恵 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田の湧水・八甲田山が作る湖沼群と温泉	青森県	十和田湖・奥入瀬渓流 高温泉・十和田市・七戸町

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()

【旅の目的】 様々な水とのふれあい方法によって、健康感(身体と心)を高める旅である。参加者の体力に応じて、目標を変えた水のスケールや表情の違いとの対峙を体験することを目的とする。観る水(歩いて巡る奥入瀬、高の湖沼群、カヌーで湖面から観る様々な十和田湖、霧、雨、雪の天候で表情が変わる水量、人口河川と農の突りの量) 触れる水(各種温泉、足湯、自噴温泉、カヌーから触る湖水の水)、飲む水(奥入瀬の水、水だし珈琲、温泉水) 聞く水(ブナ林の樹間流)、活用する水(人口河川による水田開拓・引き入れた水による自然回帰の観察)

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 5月~10月) 【催行人員】 20名(最少催行人員: 15名)

【原価】	【販売価格】	【子供料金】
34,880円 (大人1名) 35,000円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名	有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】
 神秘的湖と言われている十和田湖や八甲田山はあまりにも有名ではあるが、一般的な観光では知られていない景勝地をアクティブな体験を通して、新しい魅力を発見して貰える企画である。湖岸や遊覧船からは見られない湖上を自らの力でカヌーを漕いで、水鳥の眼になって水と親しみ、名も無い入江や岩、大樹を探そう。又、湧き出る水は、「奥入瀬の水」として製品化されており、その水で淹れる水出し珈琲の味は旅人に安らぎを与え格別なものがある。また、八甲田山麓には、その湧水が作り出した多くの湖沼が点在しており、最今は、野鳥の囀りを聞きながら、のんびりと歩くと言う、その湖沼や小渓流を楽しみながら心身を癒される旅人が多く見られるようになった。大きな十和田湖と言う水筒から流れる奥入瀬川は、稲生川と言う人口河川の通水により、不毛の地・原野であった三本木原を稲作農耕地に変え、今の十和田市の姿がある。そんな歴史を知る事も出来る水の旅でもある。

- 【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】
- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ① 十和田市観光協会 / 施設との調整・協会内情報提供と発信 | ⑤ 奥入瀬観光ボランティア協会 / 奥入瀬ガイド |
| ② 十和田市観光課・七戸町観光課・農林課/宣伝・情報提供・発信 | ⑥ 高温泉 / 高6沼のガイド・温泉入浴指導 |
| ③ 上北地域県民局 / 関係市町村との調整・情報提供と発信 | ⑦ 十和田湖民宿協会 / 宿泊・住民との交流 |
| ④ ノースビレッジ / カヌー指導・キャンプ指導や企画 | ⑧ 湧水館 / 工場案内と水製品の提供 |

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】
 * 2009年11月に上北地域県民局企画主催し、上記コースの一部をモニターとして参加し実査したものである。
 * 当社でもヘルスツアーの一環で、高温泉と周辺の6湖沼モニターツアーを催行したが、十和田湖・奥入瀬渓流に劣らず好評を得た。アップダウンも少なく、90分ほどの歩きではあるが、若者から団塊世代まで楽しむ事が出来る。
 * 当社は着地型専門業者であり、地域を越えての企画募集には、提携先(十和田地区の旅行業者との提携販売となる)

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	* 改札口で係員がお待ちしています。 八戸駅新幹線西口====定期観光バス====焼山(ノースビレッジ) * スケジュール説明・オリエンテーション 12:00頃 (とわだこ号) 14:00頃 * アウトドアスポーツの基地 ... 湧水館(奥入瀬の水で淹れたコーヒーの賞味)====奥入瀬渓流(途中散策)====宇樽部(泊) (奥入瀬の水、ペットボトルサービス) 15:00 * 石ケ戸 * 餃子大滝 16:30 <宿泊> 宇樽部の民宿となります。 * 夜に星空が素敵に見える場所へご案内します。
2日目	* 朝食前の湖畔散策などでお楽しみ下さい。 民宿====宇樽部湖畔キャンプ場 * カヌー体験はインストラクターの指導・随伴のもと湖上へ漕ぎだしましょう。 8:30 8:40 * 名も無い入江や大樹、湖上から水鳥の目線になって楽しみましょう。 宇樽部====焼山(ノースビレッジ)====高川渓流====高温泉(高沼を始め6湖沼) 11:00 11:40 * 石窯で料理したヘルシーな昼食 13:00 13:20 * 約90分の散策 * ガイドの案内と野鳥の囀り、せせらの音を聞きながら歩きましょう。・高沼・高沼・月沼・長沼・菅沼・ ・瓢箪湖・余材庵 * 一汗かいた後は「青森県の秘湯 高温泉」入浴 ====法量農村公園====人工河川(稲生川)====十和田市ホテル(泊) 15:30 16:00 * 人工河川のスタート地 * 新渡戸3代の十和田三本木原開拓の基 17:30 * 夕食は自由ですが、三陸の新鮮魚介や地産の健康食材のお料理をお勧めします!
3日目	ホテル==== 新渡戸記念館(十和田市開拓の歴史)====大清水神社(三本木の地名発祥地) 9:00 9:10 10:00 10:15 10:35 * 原野であった頃、旅人の喉を潤した水 ====七戸町(七戸川での錦鯉の放流)====婆古石(昼食:手打ち蕎麦)==== 11:00 * 町中の川の浄化 11:40 * 小川を利用した庭にはホテルやオニヤンマのヤゴ 12:40 ====道の駅七戸====七戸・十和田駅 13:00 * 健康食材などのお買物 * 14:00頃発の新幹線想定

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
<湧水館の水出し珈琲と奥入瀬川> 	<カヌーで触れる十和田湖の水> 	<高温泉と湖沼間にある大樹> 
長い青森の冬は、7月初旬までも、八甲田山の山肌 に雪を残す、日本海から吹き込む雲は、八甲田山に 霧となり雨となり、多くの水資源を残す。 時を経て湧き水となり湖や沼となり、小さな 深流は滝に姿を変え奥入瀬川に流れ込み、天 然のミネラル豊富な水となる。そんな水で 入れたコーヒーは、喉と心を癒してくれる。	さあ 水鳥の眼になって、湖水と遊ぼう! 澄んだ湖水は、やがて奥入瀬渓流となり その水は、新渡戸一族の手によって、人口河 川となり、三本木原を潤し、緑豊かな田園を 作り、十和田市を流れ、やがて太平洋に注ぐ。 ここから、この十和田湖の水の流れに沿った 水の里の旅が始まります。	高温泉は、青森県の秘湯のひとつ! ヒバ作りの湯船の底から自噴する天然掛け流しの 温泉です。また国内には八甲田山からの湧き水が いたる所に湖沼を創りだしています。その、6湖沼を。 のんびりと野鳥のさえずりや小渓流のせせら聞き ながら巡ります。 大樹に耳を寄せて、その鼓動を聞いてみましょう!
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
<法量農村公園> 	<十和田市新渡戸記念館> 	<水を利用した婆古石の農家レストラン> 
人口河川を引き、原野であった三本木原に水を引く ために、当時の人達はこんな道具を使い、人力で 水路を造りあげていったのです。トンネルを掘り、 奥入瀬川から水を引いた先人達の苦勞が偲ばれる のが、この場所なのです。	十和田市の発展の礎は、今からおよそ150年 前、人口河川・稲生川の通水に始まる。 この幕末の開拓を指揮したのは南部盛岡藩 士・新渡戸伝とその息子・孫達である。 当時の都市計画図・工具・歴史を展示	東八甲田山の雪解け水を庭に引き入れ小川となり 今では、自然回帰でホテルやトンボの生息地ともな っている。また、その水を活用して、打った手打ち の蕎麦は、今は農家レストランとして評判です。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

年 月 日

【応募者】 団体名 : 第一観光バス株式会社 旅行商品造成事業部 所在地 : 秋田県能代市万町6-32 TEL/FAX : TEL 0185-89-5822 FAX 0185-89-5823 担当者 : 鎌田嘉大 メールアドレス : kamada_y@daiichikanko.jp 登録旅行業 : 第 2 - 58 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 :	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">4</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
世界遺産白神山地の美水(びすい)にまつわる旅	秋田県	白神山地および白神山地周辺(秋田県能代市・秋田県山本郡)
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
白神山地を源とする水は、保水力に優れたブナの原生林と、そのブナの落葉が作り出す豊かな土壌によって、不純物が少なく、天然の水として飲料や農作物に利用されています。世界遺産の森が育んだ水は、独特の地層により超軟水で、お茶やコーヒー、ご飯、料理などにも最適です。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	

【旅の目的】	世界遺産白神山地から流れる清らかな水は、荘厳な自然と美味しい食べ物を、私たちに与えてくれます。そんな世界遺産白神山地を歩き、水を眺め、水に触れ、美味しい水を飲み、美味しい水から作られた料理を食べ、白神の水を体感していただきます。そのように、白神山地の豊かな自然が生み出す美しい水を五感で味わうことで、自分たちが水に生かされているのだということを実感していただける旅になれば幸いです。
--------	---

【実施時期】	春・夏・秋・冬・ 通年 (実施時期: 6月~10月)	【催行人員】	3名 (最少催行人員: 2名)
--------	-----------------------------------	--------	-----------------

【原価】	52,240円 (大人1名)	内訳	岳岱での昼食代 840円、森岳温泉丸富ホテルの宿泊代 11700円、じゅんさい摘み取り体験料金 1500円、萩の家での昼食代 1000円、黄金崎不老ふ死温泉の宿泊代 11700円、3日間の貸切タクシー料金 25500円
【販売価格】	172,200円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名 57,400円	【子供料金】 有 (円/1名) 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

- 世界遺産白神山地の美しい水を訪ねる現地発着型の貸切タクシーツアーです。白神山地の人気コース「岳岱」と「留山」という2コースを巡りますが、タクシードライバーが白神山地ガイドの資格を持っており、家族連れでもシニアの方でもしっかりサポートします。
- 水を蓄える能力が長けているブナの木を感じながら、湧き水を飲みながら白神山地を体感していただけます。また、飲むだけではなく、白神山地の水が育てる食物を食べたり、温泉につかったり、水が生み出す景色を楽しんだりすることができます。
- 貸切タクシーゆえに、プランのちょっとしたアレンジが可能です。プランには入っていないけど気になるあの場所に立ち寄りしたい、という方は、ドライバーとご相談のうえ、時間が許す範囲で立ち寄りなどが可能です。
- じゅんさい摘み取り体験、五能線体験乗車など、ほかではできない白神体験を楽しむことができます。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】	① 秋田県山本地域振興局 / 事業委託	⑤ /
	② /	⑥ /
	③ /	⑦ /
	④ /	⑧ /

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】 秋田県山本地域振興局より、あきた白神着地型旅行商品造成事業を受託して、現地発着型旅行商品の開発に取り組んでおります。白神山地情報発信サイト「白神なび」(<http://www.daiichikanko.jp/>) や、「白神なび旅ショップ」(<http://shirakami.shop23.makeshop.jp/shopdetail/002005000004/003/002/order/>) でも紹介しています。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	【大館能代空港】貸切タクシーでお迎えにあげます⇒【きみまち阪公園】明治天皇の恋文ゆかりの地である高台公園。白神山地の水が流れ込む米代川を展望できます⇒【白神山地・岳岱自然観察教育林】比較的平坦なブナ原生林内をトレッキングして、昼食をとります。林内を流れる美味しい水を飲むことができます⇒【白神山水の館】白神山地の水をボトルリングする様子を見学します(土日定休)⇒【横倉の水】わさび栽培や魚の養殖などに使われている白神山地からの流水を飲むことができます⇒【森岳温泉丸富ホテル】美しい水でしか育たない「じゅんさい」の鍋を夕食にいただき、日本有数のしょっぱい温泉につかります。
2日目	【森岳温泉丸富ホテル】⇒【百姓大学】源流は白神山地だとされている水を使って栽培しているじゅんさいを実際に摘み取ってみます⇒【古民家民宿萩の家】昼食にお蕎麦と地元の美味しい湧き水をいただきます⇒【白神山地・留山】認定ガイドと一緒に白神山地のブナ原生林をトレッキング。低山でこれほどのブナ原生林は珍しいです⇒【お殿水】かつて津軽の殿様が「甘露」と褒め称えた名水を試飲⇒【黄金崎不老ふ死温泉】白神山地の水が流れ込んだ日本海のすぐ側にあり、波打ち際の露天風呂が有名。夕食に白神の水が流れ込んだ日本海の海の幸をいただきます。
3日目	【黄金崎不老ふ死温泉】⇒【白神山地・十二湖】長寿の水と呼ばれる湧き水を試飲。十二湖庵という休憩所が長寿の水で淹れたお茶をいただくことができます⇒【白神山地・十二湖】神秘的湖・青池を見学⇒【白神山地・十二湖】十二湖荘で昼食(実費)⇒【JR五能線体験乗車】日本海の景色を堪能できるJR十二湖駅からJR東八森駅までの区間、普通列車に乗って日本有数の人気路線を体験します(実費)⇒【大館能代空港】
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【白神の水を蓄える岳岱自然観察教育林】	【白神の水の工場白神山水の館】	【白神の水の恩恵を受けるじゅんさい】
 <p>白神山地の岳岱自然観察教育林では、白神の水を吸い上げたブナの木からグリーンシャワーを浴びながらトレッキングすることができます。マタギが熊を待った岩かげや、林内に流れる美味しい自然の水など、タクシードライバー兼ガイドの案内で見どころを見落とさずに白神観光ができます。</p>	 <p>白神山地から流れる水を、非加熱でボトルリングするため、限りなく自然に近い白神の水を飲むことができます。「白神山水」。そのボトルリング工程を見学したり、試飲したり、白神の水についての説明を受けたりすることができます。近くには白神の水でワサビ栽培や魚の養殖を行う横倉地区もあります。</p>	 <p>綺麗な水でしか育たない「じゅんさい」は秋田県三種町が生産量日本一。じゅんさいを育てる水は白神が源流となっています。三種町にある森岳温泉で郷土料理の「じゅんさい鍋」を食し、百姓大学では「じゅんさい摘み採り」を体験することができます。なお、森岳温泉のお湯は日本有数のしょっぱさです。</p>
【白神の水を守った留山】	【白神の水の神秘を見せる十二湖】	【白神の水の行方を眺める五能線】
 <p>かつて伐採しすぎて枯渇していく山を守るためにつくられた留山は、白神のブナの木と水を守ってきました。いまでも荒廃を防ぐため、認定ガイドとの同行でないと入山できないエリアです。これほどの低山で見事なブナ原生林を持つ山は他に類を見ません。熊がつけた爪痕なども見ることができます。</p>	 <p>白神の水を神秘的かつ幻想的に見せてくれる湖が「青池」です。透明度が高く底まで見透してしまい、何時間でも見つめていたくなります。また、湧き水の「長寿の水」の試飲や、その水で淹れたお茶を十二湖庵で飲むことができます。白神の水を眺め、音を聞き、飲み、体感できるスポットです。</p>	 <p>白神山地の水は最終的には日本海へと流れ着きません。その日本海の眺望を人気ローカル線の五能線から楽しむことができます。リゾート列車「リゾートしらかみ」ではなく、普通列車への乗車ではありませんが、景観の優れた区間を選んでいきます。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月25日

【応募者】 団体名 : 岩手: おもてなしプラザ運営協議会 秋田: 美郷町商工会青年部 所在地 : 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 秋田県仙北郡美郷町六郷字西高方町 102-60 TEL/FAX : 岩手: 019-601-2468/019-601-2470 秋田: 0187-84-0560/0187-84-0565 担当者 : 岩手: 事務局次長 寺井良夫 秋田: 美郷町商工会 高野正彦 メールアドレス : 岩手: terai@u-keikaku.com 秋田: masahiko.takano@shoko.skr-akita.or.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号: ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) 
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
岩手と秋田の水の里に歴史のドラマと水の物語を訪ねる旅 ---サケが遡上する川のまち盛岡 & 百清水の湧水群がある美郷町六郷--- 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 盛岡市は北上川、中津川、鞆石川の3つの川が合流する川のまちで、共同利用の清水も残されています(平成の名水百選に2か所選定) 美郷町の六郷地区は、百清水と言われる清水の里として、奥羽山脈の伏流水の恵みを暮らしや観光に活かしています(六郷湧水群は昭和の名水百選)	岩手県 秋田県	盛岡市 美郷町

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()
【旅の目的】 岩手を代表する川のまち盛岡と秋田を代表する清水の里六郷を訪ね、人々の暮らしや産業を支えてきた水の物語に出会い、地域に根づいている水に対する感謝の心を感じ取っていただきます。また、この離れた場所にあるふたつの地域は、古代東北の歴史でつながっています。前九年の役、後三年の役です。水の恵み豊かなまちの奥深くにある歴史のドラマにも思いをはせていただきます。

【実施時期】 春・夏・秋・冬 (通年 / (実施時期: おすすめは夏か秋))	【催行人員】 40 名 (最少催行人員: 20 名)
【原価】 27,607 円 (大人1名) 盛岡1泊朝食7,000円、美郷1泊2食7,507円 夕食4,000円 昼食1,000円×3回=3,000円 ガイド500円×4回=2,000円 バス4,000円 レンタサイクル100円 オプション(浴衣)	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

- ・岩手と秋田の広域連携により取り組む企画です
- ・水の里について深く学び体験していただくよう、地区内の移動には徒歩または自転車を使ってゆっくりと巡ります。
- ・地元の自然系、歴史系それぞれの分野に詳しい市民ボランティアの観光ガイドが、東北人のおもてなしの心でご案内します。
- ・豆腐、酒、サイダー、染め物など、水と密接に結びついた物産や伝統文化に直にふれて味わい体験していただきます。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① 行政(協力) 盛岡市/関係機関団体との調整	⑤	/
② 経済団体 ()	⑥	/
③ 商店街 ()	⑦	/
④ 町内会 ()	⑧	/

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー

【特記事項】 岩手盛岡の受け皿は、7つの市民団体で構成する「おもてなしプラザ運営協議会」です。市民団体は、馬をめぐり地域まると体験交流連携事業実行委員会、FeelDo!いわて、文化地層研究会、盛岡自転車会議、盛岡城いしがき文化祭、NPO法人もりおか中津川の会、盛岡まち並み塾です。なお、市民団体の中には旅行業経営者もいて、着地型ツアーの実施に力を入れています。秋田美郷の受け皿の中心は、美郷町商工会青年部です。美郷町商工会、美郷町観光協会、千畑ヘルス観光株式会社、道の駅雁の里せんなん等に働きかけて実行委員会を立ち上げることを考えています。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	盛岡【中津川界限】 市民のボランティアガイドの案内で、歩いて巡る 12:00 盛岡到着、昼食 13:00 中津川の散策(秋はサケ遡上の観察) 15:00 水に関連する地場産業の見学(染め物、もっきり酒場) 16:00 上の橋の擬宝珠、賢治ゆかりの場所、啄木ゆかりの場所 18:00 夕食は、そば、豆腐、川魚、くるみの料理を味わう(川や水に関わりの深い食材) 《中津川近くのホテルに宿泊》 夏であれば川沿いで夕涼み
2日目	盛岡【鉈屋町界限】 市民のボランティアガイドの案内で、歩いて巡る 09:00 鉈屋町の町家、清水、豆腐屋、造り酒屋見学 10:00 清水を湧かしていたお茶で休憩 11:00 明治橋脇のお蔵見学 12:00 盛岡名物の冷麺、じゃじゃ麺の昼食(希望に応じて) 《バス移動》 途中、前九年の役ゆかりの場所を見学 美郷【千畑界限】 美郷町観光協会ボランティアによる案内で、自転車で巡る 16:00 千畑地区清水めぐり(イバラトミ魚の観察) 《湧水の水源地である奥羽山系の山麓にある宿に宿泊》 夏であればホテル鑑賞
3日目	美郷【六郷界限】 美郷町観光協会ボランティアによる案内で、歩いて巡る 08:00 納豆発祥の地として朝食は納豆を味わう 09:00 オプション(夏であれば浴衣姿に着替える) 10:00 六郷湧水群めぐり 12:00 美郷まんま(地元で開発した新しい郷土食)を味わう 13:00 水に関する産業との関わり見学(酒蔵、仁手古サイダーを味わう) 15:00 後三年の役ゆかりの場所を見学 《バス移動》 横手から北上に抜けて帰路

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】盛岡市の中心部を流れる清流中津川。上の橋には国指定文化財の青銅擬宝珠があります。この川は、かつて染め物を洗い流す場としても利用され、現在はイベントの際にその光景が見られます。</p>	 <p>【コメント】中津川には毎年数100匹のサケが遡上します。9月下旬から11月上旬まで、まちなかの橋の上や川岸から間近にサケの姿を目にすることができます。運が良ければ感動的な産卵の瞬間に遭遇することもあります。</p>	 <p>【コメント】盛岡の鉈屋町地区には古い町家が残り市民の手による保存活用の取り組みが行われています。その鉈屋町に住民が共同利用する2つの清水、青龍水と大慈清水があります。今でも大事に守られ、暮らしの中で使われています。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】美郷には湧水が130か所あります。そのうち六郷の主な湧水群は歩いて巡ることができます。浴衣を着て清水めぐりツアーも開催されています。六郷湧水は現在も住民に欠かせない生活水です。</p>	 <p>【コメント】美郷まんま。美郷の水が育んだあきたこまちと美郷町で育てられた黒毛和牛を使い、味付けは昭和5年創業の味噌醤油醸造元の醤油を使用。肉の旨みと野菜や椎茸が絡み合ったまぜごはん是非ご賞味下さい。</p>	 <p>【コメント】美郷町には3つの酒蔵があり、美郷町でつくられた酒米などを使い、お酒が造られています。毎年2月には蔵開きがあります。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名 : NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 所在地 : 山形県西置賜郡長井市十日町1-10-23 TEL/FAX : TEL0238-84-2111(521) FAX 0238-84-5969 担当者 : 事務局員 加藤 美幸 メールアドレス : 229km@e.jan.ne.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">6</div>
--	--

【タイトル/サブタイトル】 ～アルク最上川～ (歩く早さで感じる旅) 最上川流域の景観・まち・文化・歴史を活用した観光推進事業 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 山形の風土(歴史と景観)を育んだ最上川の“すばらしさ”はスケールの大きさです。この“すばらしさ”は、1つの市町村で伝え切れなれないと思っています。さらに、この“すばらしさ”は、車で移動しては感じる事ができないと考えています。 そこで、川沿いに整備されたフットパス(散策路)等を活用して、複数の町の資源を歩きながら、川風を感じ最上川の歴史や文化にふれてもらいたいと思っています。 特に、最上川上流域は、下流の酒田地域や中流の最上川下りのように観光地化されていませんが、舟運によって発展した町には歴史的な建築物が点在し、清らかな水を活用した産物が多く存在しています。そこで、この観光資源を地元山形弁を交えながら、ボランティアガイドが案内し、最上川の魅力を堪能していただきたいと考えています。	【都道府県名】 山形県	【観光地域名】 最上川上流域 長井市 白鷹町 朝日町 大江町
--	-----------------------	--

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他()	【旅の目的】 最上川のスケールの大きさを肌(自分の足)で感じていただく旅 地元の人と歩きながら交流し、コミュニティを深めいただく旅	【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 9月下旬～10月中旬)	【催行人員】 10～20名(最少催行人員: 5名)
【原価】 15,000円 (大人1名)	内訳 フラワー長井線 赤湯駅～長井駅 ¥600 JR左沢線 寒河江駅～山形駅 ¥320 食事他 はぎ苑(部屋代・入浴・昼食・バス込み) ¥2,000 宿泊他 パレス松風(宿泊代・夕食・朝食・入浴・バス込み) ¥9,450 食事他 テルメ柏稜(部屋代・入浴・昼食・バス込み) ¥2,000 ガイドボランティア ¥2,000×4人(8,000÷参加人数) 20人で1人400円 コーディネート料金 ¥230		
【販売価格】 円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	大人1名	【子供料金】 有() 円/1名・無 (旅行業登録のある場合のみ記入)	

【旅行企画のセールスポイント】

- ・都会では経験できない壮大な最上川流域の自然・歴史・文化を感じながらアルクこと。(歩く早さで感じる旅)
- ・最上川流域のフットパスを歩きゆくりと景観を楽しめる。
- ・ガイドボランティアが引率することで、訪れている場所について詳しい話が聞ける、また旅行者の求めることに答えられる。
- ・山形ならではの美味しいものを食べながら、3ヶ所で温泉を楽しめること。
- ・山形のファンになっていただくために、参加者五人に一人のボランティアガイドが付きます。説明が聞こえない、はぐれてしまったなどの心配がありません。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① ながい黒獅子の里案内人 / ガイドボランティア	⑤ はぎ苑・パレス松風・テルメ柏稜 / 施設利用・バス利用
② しらたか旅先案内人 / ガイドボランティア	⑥ NPO法人 長井まちづくりNPOセンター/企画・段取り
③ 朝日町エコミュージアム案内人の会/ガイドボランティア	⑦ NPO法人 朝日町エコミュージアム協会/企画・段取り
④ 大江町観光ボランティアガイドの会/ガイドボランティア	⑧ 各市長の観光協会 / 広報・受付

【催行日程】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー
【観光ポイント】 ー 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り ー
【特記事項】 私たち(NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク)は、産官学の力を合わせて、山形県の誇りである最上川を観光的に活用しつつ地域活性化を図っていくことを目的としている組織です。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目 午前 (長井市) 山形・赤湯駅集合 8:45 赤湯発 8:59(フラワー長井線)長井着 9:32 長井駅 *長井ボランティアガイド合流(アイズプレイクタイム) → 10:00 出発(バス移動) → 10:05 宮舟着場(見学・歩く) → 10:25 最上川フットパス(歩く) → 10:35 やませ蔵(見学・歩く) → 11:00 平野川(フットパス約1km 歩く) → 11:35 あら町通り(東講商人鑑・歴史的建築物等の見学・歩く) → 12:00 はぎ苑着 多夢炉(昼食・入浴)	14:00 はぎ苑 出発(バス移動) → 14:30 最上川白鷹荒砥ビューポイント(見学・歩く) → 最上川橋梁(見学・白鷹ガイドボランティア合流・バス移動) → 15:00 小松織物工場(見学・バス移動) → 15:50 つぶて石付近～あゆ茶屋まで(フットパス約2km 歩く) → 17:10 あゆ茶屋到着 17:40 17:45 あゆ茶屋出発(バス移動) → 18:00 パレス松風着 (夕食・入浴・宿泊)
2日目 午前 (朝日町) 9:00 パレス松風発(バス移動) → 10:00 朝日町創遊館着(見学・朝日町ガイドボランティア合流) → 10:10 出発(バス移動) → 10:20 榎田百選の「榎平の榎田」着(見学) → 10:45 出発(バス移動) → 11:00 県指定ビューポイント着 (タンの瀬・岩取り場・明鏡橋(フットパス 約1km 歩く) → 11:30 桜公園着 出発(バス移動) → 11:40 ワイン城着(工場見学・ワインの試飲など・バス移動) 12:30 テルメ柏稜 (昼食・入浴)	14:00 出発(大江ガイドボランティア合流・歩く) → 14:10 水辺プラザ・観光やな・ウッドデッキ・左沢橋・ふれあい会館・旧最上橋・桜町渡舟場跡・最上川舟歌発祥の地碑(各地点をめぐるフットパス 約3.5km 歩く) → 最上川舟歌発祥の地碑発(バス移動) → 16:29 寒河江駅発(JR左沢線) → 17:00 山形駅着(解散) 山形駅にてショッピングも可
2日目 午後 (大江町)	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>【コメント】 “長井市あら町” (東講商人鑑) あら町には古き良き時代の面影を残すお茶屋さんや醤油屋さん、呉服屋さんの建物や蔵があります。庭には入り水や池、水路が整備され豊かな自然が見られます。</p>	 <p>【コメント】 “白鷹町佐野原岩盤” ここ白鷹町黒滝の最上川五百川渓谷には大きな岩盤があり、舟運の障害となっていました。しかし、上杉家の御用商人西村久左衛門が開削し、舟道ができました。</p>	 <p>【コメント】 “朝日町旧明鏡橋” 最上川初のコンクリートアーチ橋、昭和12年10月架橋、ここは最上川ビューポイントであり、旧明鏡橋は「土木遺産」に指定されています。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>【コメント】 大江町 旧最上橋 昭和15年に建造され、三連アーチ橋で、県内で初めて土木学会選奨「土木遺産」に指定されています。</p>	 <p>【コメント】 白鷹町 最上川橋梁(日本初といわれているトラス型鉄橋)の上を走るフラワー長井線の車窓から見える風景</p>	 <p>【コメント】 朝日町 榎田100選に選ばれた「榎平」。近くの本松公園からは、扇状に広がる榎田の姿が一望できる。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名 : NPO法人 最上川リバーツーリズムネットワーク 所在地 : 山形県西置賜郡長井市十日町1-10-23 TEL/FAX : TEL0238-84-2111(521) FAX 0238-84-5969 担当者 : 事務局員 加藤 美幸 メールアドレス : 229km@e.jan.ne.jp 登録旅行業 : 第 _____ 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">7</div>
---	--


【タイトル/サブタイトル】 ~最上川“かわ”下り列車~ (かわの流れを感じる旅) 最上川のカヌー下りとフラワー長井線を活用した観光推進事業 【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 山形の風土(歴史と景観)を育んだ最上川のすばらしさは、スケールの大きさです。このすばらしさは、車で移動しては感じる事ができないと考えています。 そこで、最上川の歴史や文化を運んだ『船旅』をカヌー下りで体験してもらいます。川の中から、川風を感じ最上川の歴史や文化にふれ、カヌーから降りては、最上川沿いを走るローカル列車に乗り車窓を流れる自然豊かな景観を楽しんでもらいます。 なお、最上川上流域は、流れが速いように思いますが、この区間はそれほど流れは速くなく、ゆっくりとしたリバーツーリングが楽しめます。この区間は、最上川中流の最上川下りのように観光地化されていませんが、自然豊かな川下りを楽しめます。	【都道府県名】 山形県	【観光地域名】 最上川上流域 長井市 白鷹町														
【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()	【旅の目的】 最上川のスケールの大きさや川の流れを体で体験していただく旅															
【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 7月上旬~10月上旬)	【催行人員】 18名 (最少催行人員: 5名)	【原価】 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">内訳</th> </tr> <tr> <td>フラワー長井線 赤湯駅~長井駅</td> <td>¥600</td> </tr> <tr> <td>フラワー長井線 荒砥駅~長井駅</td> <td>¥460</td> </tr> <tr> <td>レンタルカヌー 1隻 ¥10,500 (二日分・回収輸送費を含む) ÷ 3人</td> <td>一人あたり ¥3,500 (カナディアンカヌー 6隻・1隻3人乗り)</td> </tr> <tr> <td>地元愛好家サポート費用</td> <td>¥1,000 (18,000円 ÷ 18人の場合 2名によるサポート)</td> </tr> <tr> <td>宿泊 はぎ苑 1泊2食付</td> <td>¥9,000 (温泉入浴)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">但し: 昼食代は含まない。二日目の交通機関等の移動費は含まない。</td> </tr> </table>	内訳		フラワー長井線 赤湯駅~長井駅	¥600	フラワー長井線 荒砥駅~長井駅	¥460	レンタルカヌー 1隻 ¥10,500 (二日分・回収輸送費を含む) ÷ 3人	一人あたり ¥3,500 (カナディアンカヌー 6隻・1隻3人乗り)	地元愛好家サポート費用	¥1,000 (18,000円 ÷ 18人の場合 2名によるサポート)	宿泊 はぎ苑 1泊2食付	¥9,000 (温泉入浴)	但し: 昼食代は含まない。二日目の交通機関等の移動費は含まない。	
内訳																
フラワー長井線 赤湯駅~長井駅	¥600															
フラワー長井線 荒砥駅~長井駅	¥460															
レンタルカヌー 1隻 ¥10,500 (二日分・回収輸送費を含む) ÷ 3人	一人あたり ¥3,500 (カナディアンカヌー 6隻・1隻3人乗り)															
地元愛好家サポート費用	¥1,000 (18,000円 ÷ 18人の場合 2名によるサポート)															
宿泊 はぎ苑 1泊2食付	¥9,000 (温泉入浴)															
但し: 昼食代は含まない。二日目の交通機関等の移動費は含まない。																
【販売価格】 _____ 円 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【子供料金】 有 (_____ 円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)	【旅行企画のセールスポイント】 都会では経験できない壮大な最上川流域の自然・歴史・文化を感じながらカヌーでかわを下ること。 初日は、地元のカヌー愛好家がサポートします。 カヌー愛好家達を対象としたツアーなので、地元の愛好家とのコミュニティの場になればよいと思います。														
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 出羽乃国漂流隊/サポート</td> <td>⑤ はぎ苑 / 施設利用</td> </tr> <tr> <td>② 長井市観光協会/広報・受付</td> <td>⑥ タスパークホテル/施設利用</td> </tr> <tr> <td>③ 白鷹町観光協会/広報・受付</td> <td>⑦ NPO法人 長井まちづくりNPOセンター/企画・段取り</td> </tr> <tr> <td>④ 山形鉄道株式会社/広報・企画など</td> <td>⑧</td> </tr> </table>			① 出羽乃国漂流隊/サポート	⑤ はぎ苑 / 施設利用	② 長井市観光協会/広報・受付	⑥ タスパークホテル/施設利用	③ 白鷹町観光協会/広報・受付	⑦ NPO法人 長井まちづくりNPOセンター/企画・段取り	④ 山形鉄道株式会社/広報・企画など	⑧						
① 出羽乃国漂流隊/サポート	⑤ はぎ苑 / 施設利用															
② 長井市観光協会/広報・受付	⑥ タスパークホテル/施設利用															
③ 白鷹町観光協会/広報・受付	⑦ NPO法人 長井まちづくりNPOセンター/企画・段取り															
④ 山形鉄道株式会社/広報・企画など	⑧															
【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り — 【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —																
【特記事項】 私たち(NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク)は、産官学の力を合わせて、山形県の誇りである最上川を観光的に活用しつつ地域活性化を図っていくことを目的としている組織です。 このツアーは、カヌー愛好家等を対象としているので、すべてにおいて自己責任となります。																

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目 山形県赤湯駅集合 10:30 赤湯発 10:38 (フラワー長井線) 長井着 11:34 → 長井駅 → (バス移動) → 最上川発祥の地(白川合流点) 着 12:00 昼食(各自のお弁当・周辺散策) → 13:00 カヌーの乗り方講習 → 13:30 発 → カヌーで最上川下り(2時間半程度) → 荒砥・最上川橋梁近辺もしくは荒砥・つづて石着 16:00 → 歩き → 荒砥駅発 17:18 → あやめ公園駅着 17:35分 → (歩き) → はぎ苑 (宿泊・温泉)		
2日目 はぎ苑 → (歩き) → あやめ公園駅 9:34 発 Aコース 1日目と同じコースを、自由にカヌーで下る (自分の好きな場所で上陸して一休み) → 荒砥駅 Bコース 1日目コースの下流をカヌーで自由に下る (五百川渓谷) → 荒砥駅 荒砥駅解散 (16:00)		
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】 	【ポイント2】 	【ポイント3】 
【コメント】 最上川本流 (長井市野川支川合流点側)	【コメント】 最上川本流 (河川緑地公園側)	【コメント】 最上川本流 (河川緑地公園船着場側)
【ポイント4】 	【ポイント5】 	【ポイント6】 
【コメント】 車窓から見える景色 (葉山)	【コメント】 車窓から見える景色 (最上川橋梁から見える最上川)	【コメント】 松川・白川合流地点

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月25日

【応募者】 団体名 : 長井まちづくりNPOセンター 所在地 : 長井市十日町一丁目10-23 TEL/FAX : TEL0238-84-5537 FAX 担当者 : 高橋郁子 メールアドレス : otksogei@jan.ne.jp 登録旅行業 : 第 ー 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 :	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) 
---	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
水の神様 黒獅子の里と舟運文化をめぐる旅	山形県	長井市
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		
その昔、この地域を支配していた安部貞任の娘「卯の花姫」が前九年の役で義家との戦いに敗れたため野川三瀬溪谷に身を投げ、龍となり置賜野川の女神となったという伝説がある。今でも総宮神社をはじめ市内約40の神社には黒い頭の黒獅子の舞が奉納される。水神(龍)は、野川に雨を降らせながら下りてくると言い伝えられ、その姿が黒獅子となっている。今もなお、黒獅子が神社から出る頃に不思議と雨が降る。黒獅子の動きには一つ一つ意味があり、太鼓と笛にあわせて舞う勇壮な姿は必見。市内の各神社で行われている黒獅子舞は、それぞれ趣があって面白い。また、最上川舟運がもたらした文化・歴史的建造物をめぐり、当時の文化やおいしい水、地酒・菓子・郷土料理などを味わうことができる。		
【日程】	1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他()	
【旅の目的】	水にまつわる地域ならではの歴史と現在の生活水の根源となる今年完成の長井ダムを見学。(卯の花姫像があります) 長井の象徴である「水」の化身である黒獅子の体験(時期によっては黒獅子のお祭り見学)と最上川舟運の文化をめぐる。 おいしい水が豊富だからこそ出来る、野菜・米・地酒・味噌・醤油・お菓子などを食べ歩き。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期 :)	【催行人員】 20名 (最少催行人員 : 4名)
【原価】	内訳 宿泊9600円 昼食2000円(2日間) ガイド料1000円(2日間) タクシー代3500円 菓子など諸経費1400円 17,500円 (大人1名)	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有(円/1名)・無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
<ul style="list-style-type: none"> 今年 秋に完成する長井ダムを見学し、初秋の山々を散策。 最上川舟運文化の歴史が今もなお残っている建物、文教の社を見学。 豊富な水がおいしい米をつくり 米からできる地酒や味噌・醤油を試飲・試食できる。 水にまつわる伝説のある総宮神社を見学し、宝物殿の黒獅子を見学。(神社の例祭時期は、黒獅子舞の見学) 温泉宿では 黒獅子まつりDVD鑑賞で勇壮なまつりを見ることが出来る。横笛吹き体験ができる。 街中に生活にはかかせない水路がはりめぐらされて、沿って歩けば最上川にたどり着く。みずはの小道散策。 最上川フットパスでさわやかな汗をかいたあとは、山形名物「いも煮会」を堪能。 お菓子めぐりで ちょこっとつまみ食い。 		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① 長井まちづくりNPOセンター	/企画・実施	⑤ /
② 黒獅子の里案内人	/ガイド	⑥ /
③ 長井市観光協会	/窓口・調整	⑦ /
④ /		⑧ /

【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —
【特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> 9月初めの土・日に総宮神社の例大祭がある。それにあわせて実施すれば 目の前で迫力ある黒獅子が見られる。 長井ダムは秋に完成予定。周辺山々は紅葉が美しい。

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	山形鉄道 長井駅集合 9:40(ジャンボタクシー) == 野川まなび館 10:00 == 長井ダム 見学・散策(ガイド付き) == 11:30 野川まなび館 == 12:00 なごみ庵(郷土料理の昼食) == 13:30 文教の社(ボランティアガイド同行)・(徒歩)・長沼酒造<試飲>・総宮神社<黒獅子展示見学> == 16:00 はぎ苑(宿泊) 黒獅子まつりDVD、横笛体験 温泉 食事(神社例祭時期は食後に祭りの見学オプション)
2日目	はぎ苑 == (バス) == 9:30 長井駅(荷物を預ける)(ボランティアガイド同行)・(徒歩)・長井小出方面 近代建築、歴史的建造物見学・レインボー野菜直売所(野菜)・やませ蔵美術館(金・土・日に限りオプション)・あら町通り・昼食(最上川川原でも煮会)・最上川フットパス・木造校舎の長井小学校・(菓子休憩)・長井駅 14:30(解散)
3日目	
4日目	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
		
【コメント】長井ダム 長井ダムは現在湛水試験中。湖は「ながい百秋湖」と名づけられた。名前のとおり、百の秋が楽しめそう。奥には朝日連峰の山々がそびえ立つ。	【コメント】総宮神社例大祭 黒獅子祭りは、夜までくりひろげられる。御信心と言って低頭し、パコンパコンと3回。これで厄払いができる。	【コメント】長井一宮である総宮神社 宝物殿には、900年前のものや600年前の獅子頭が展示されている。境内には直江兼続が植えたといわれる直江杉が9本。隣には馬頭観音もある。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
		
【コメント】丸大扇屋(文教の社) 今から300年前に、この地で呉服屋を営んだ商家で、最上川舟運の繁栄をしのばせる建物。茅葺屋根の母屋と蔵座敷、水と緑が織り成す庭園、それぞれが美しく調和しています。	【コメント】市民市場レインボープラン虹の駅 「レインボープラン」は中央地区の約5000世帯から出された生ゴミを収集し、粗糞畜ふんとあわせてコンポストセンターでやく0日間かけて堆肥にします。堆肥は市内の農地に還元し、そこから生産された米や野菜を再び長井の台所へと循環する「地域内循環型社会」に取り組んでいる。その野菜の直売所。	【コメント】最上川フットパス フットパスとは、イギリスが発祥で「歩くことを楽しむ小道」のことを言う。最上川の美しい自然や沿川の魅力的な場所を「フットパス」でつないだ10ルートもある。ルートには案内標識も整備され、木道や飛び石を設置し、歩く楽しさをより一層引き出してくれる。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月24日

【応募者】 団体名 : <u>株式会社日本海トラベル</u> 所在地 : <u>〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字矢口 97-1</u> TEL/FAX : TEL <u>0234-43-4312</u> FAX <u>0234-43-4737</u> 担当者 : <u>後藤 紀</u> メールアドレス : <u>nihonkai@sage.ocn.jp</u> 登録旅行業 : 第 <u>3</u> - <u>168</u> 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください。) (ANTA会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : _____	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">9</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
平成の名水百選 立谷沢川の水の恵みとふれ合う旅	山形県	出羽三山の主峰
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】		月山の麓、
立谷沢川流域の美化活動と清流の豊富な食材利用		立谷沢川流域

【日程】 1. 日帰り ②. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()

【旅の目的】 立谷沢川流域の美化活動体験と美味賞味の旅

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期: 10月中旬) 【催行人員】 30名 (最少催行人員: 15名)

【原価】 24,000円 (大人1名) 内訳: バス代、1泊2食宿泊料、昼食2回、観光料(舟下り含む)、草木染め・炭焼き・そば打ち等の体験料、保険料、案内企画料

【販売価格】 円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名 【子供料金】 有 (円/1名) (旅行業登録のある場合のみ記入)

- 【旅行企画のセールスポイント】
- 立谷沢川・最上川の紅葉観賞と、川魚の生態をのぞく!!
 - 流域の素材を使った体験工作がお土産となります。
 - 豊富な食材で作った郷土料理を賞味して頂き、特に川ガニ(モクズガニ)のたたき汁は絶品です!!

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① 庄内町観光協会 /	⑤ 立谷沢地区振興協議会 /
② 立谷沢川流域振興戦略会議 /	⑥ 清川そば愛好会 /
③ 清川地区振興協議会 /	⑦ / /
④ 最上川土地改良区 /	⑧ / /

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【特記事項】

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		
1日目	(集合受付) (昼食:船中弁当) (辻のり講師で流域の素材利用) 最上川舟下り JR余目駅—古口船番所—草薙リバーポート—立谷沢公民館:草木染め体験— 11:00 11:50 12:45 13:15~15:15	
	(加藤三也氏の指導で窯入れ) (加藤三也氏の指導で窯入れ) 釜子:炭焼き体験(お土産付)—北月山荘(泊) ◎ツルツルの泉質で旅の疲れを取って頂き、 15:30~16:15 16:45 夕食は、立谷沢川流域の食材で作った郷土料理と イワナの塩焼き、新米でのご飯	
2日目	(新米おにぎり朝食) (地域の皆さんと川の清掃) (清川そば愛好会の指導と川ガニのたたき汁作り) 北月山荘—立谷沢川の美化活動—立谷沢公民館:そば打ち体験・味噌汁作り体験— 8:30 8:45~10:00 10:15~13:00	
	(最上川の魚類の生態を覗く) (鮭の湖上の見学とつかみ獲り) (最上川を下り羽黒山に 向う為に上陸した地点) (元気で解散) 最上川フィッシュギャラリ—立谷沢川親水広場—松尾芭蕉上陸の地—JR余目駅 13:20~14:00 14:15~15:00 15:05~15:15 15:45	
【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】  【コメント】 芭蕉の句「五月雨をあつめて早し最上川」で知られる最上川は、山形県内を縦断する母なる川です。春は新緑、秋は紅葉と一年を通して1時間の船旅が楽しめます。	【ポイント2】  【コメント】 平成の名水、立谷沢川流域に自生している山野草を用いた草木染め体験は四季折々の変化に富んだ作品が出来上がり夢のある体験です。	【ポイント3】  【コメント】 ササニシキやコシヒカリ等の美味しい米の祖先である「亀の尾」発祥の地、庄内町は豊峰月山の清らかな水でおいしい庄内米を作り出しています。
【ポイント4】  【コメント】 立谷沢川の美化活動は立谷沢地区振興協議会が中心となり、地域全員がボランティアとして活動し平成の名水百選を守っている活動は、春のゴミ拾い、夏の終りの雑草刈りと2回の実施となります。	【ポイント5】  【コメント】 立谷沢川流域は、そばの植付けが盛んであり、清川そば愛好会にはそば打ちのプロの腕前の方が多く親切にそば打ちを指導してくれて、おいしい打ち立てのそばを食べられます。	【ポイント6】  【コメント】 日本三大急流の最上川が育んだ滋味豊かな「モクズガニ」(上海がにの仲間)を殻ごとすりつぶし、味噌仕立てで仕上げたカニ汁は絶品です。地元の婦人会が、カニ汁作りの指導致します。参加者はおどろきの体験となります。

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月26日

【応募者】 団体名 : <u>やまがた広域観光協議会</u> 所在地 : <u>山形県山形市鉄砲町2丁目19-68 山形県村山総合支庁観光振興室内</u> TEL/FAX : <u>TEL 023-621-8441 FAX 023-621-8445</u> 担当者 : <u>事務局員 遠藤 智子</u> メールアドレス : <u>endotomoko@pref.yamagata.jp</u> 登録旅行業 : 第 <u> </u> 号 (旅行業者の場合のみ、ご記入ください) (ANTA 会員の場合は、右もご記入ください) 会員登録番号 : <u> </u>	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 (記入不要) <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">10</div>
--	---

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
「城下町やまがた」を潤した里山の湧水と堰めぐり	山形県	山形市・山辺町
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 古来より山形盆地に住む人々は、東の蔵王山系や西の朝日山系からの流水や湧水を農業用水、生活用水等として利用し、「恵みの水」「生きるための水」として大切に守ってきました。これらの水は「城下町やまがた」を潤して人々の生活や産業を支え、ともに歴史や文化を育み、今日の山形の礎を築くうえで重要な役割を果たしました。		

【日程】 1. 日帰り 2. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他 ()

【旅の目的】 山辺町作谷沢地区と山形市西蔵王地区では、里山の自然の中で湧水や湖沼をめぐるハイキングやトレッキングを楽しみ、山形市街地では、疎水百選に選ばれている「山形五堰」をめぐる山形の歴史と文化を訪ねます。山々に端を発して生まれた水とその流れをたどり、今なお山形に住む人々の生活を支え、憩いとやすらぎを与えている水の恵みを感じていただきます。

【実施時期】 春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期:) 【催行人員】 25名(最少催行人員:15名)

【原価】	内訳	
24,090円 (大人1名)	・バス代 6,670円 (⑩00,000円÷15名) ・昼食代 3,200円 (はたざお2,000円+三百坊1,200円) ・ガイド料 670円 (⑩10,000円÷15名)	・宿泊料 12,750円 (1泊2食) ・抹茶代 500円 ・旅行保険代 300円

【販売価格】	【子供料金】
円 (旅行業登録のある場合のみ記入) 大人1名	有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)

【旅行企画のセールスポイント】

- ・「湧水の里」として知られている作谷沢地区には、代表的な湧水が12ヶ所(一番水～十二番水)あります。これらの湧水やわさび田をめぐり、里山でのハイキングを楽しみます。昼食は、地元産の食材を使った素朴な郷土料理を、農家民宿で召し上がっていただきます。
- ・西蔵王地区では、清水や水にちなんだ隠れたスポットをめぐり、トレッキングを楽しみます。昼食は、西蔵王地区で栽培されたそば粉と湧き出る地下水で打ったそばを召し上がっていただきます。季節限定で、寒の時期に清流にさらすことによりアクが抜けて甘みが増すといわれる「寒ざらしそば」も召し上がっていただきます。
- ・疎水百選の「山形五堰」は、笹堰、御殿堰、八ヶ郷堰、宮町堰、双月堰の総称です。春には桜めぐりも楽しめる堰もあります。また、夏には、清流だけに咲く可憐な花「梅花藻(ばいかも)」もご覧いただけます。
- ・蔵王山系の伏流水を使用している酒蔵で見学・試飲をしていただけます。
- ・地元の観光ガイドが、地元ならではの情報を伝え説明しながら楽しくご案内します。
- ・四季折々の自然・街なみの美しさを感じていただきながらめぐることができるツアーです。

【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】

① 山辺町観光協会	／山辺町作谷沢地区の案内	④	／
② 西蔵王観光協議会	／山形市西蔵王地区の案内	⑤	／
③ 山形市観光ボランティアガイド協会	／山形市街地の案内	⑥	／

【催行日程】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —

【観光ポイント】 — 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —




【特記事項】

【エントリーシート 別紙】

【行程表】		(==バス、・・・徒歩)
1日目	山形駅(10:30) == (車窓 九番水・亀ノ子) == (11:25)山辺町畑谷(11:30)・・・(12:15)十一番水・五番御神酒(12:25)・・・(13:00)農家民宿・はたざお(昼食)(14:00)・・・(14:15)七番水・弁財天畑谷(14:25)・・・(14:30)わさび田(14:40)・・・(14:50)八番水・御清水(15:00) == (16:30)蔵王温泉(宿泊)	
2日目	蔵王温泉(9:00) == (9:25)山形市野草園口(9:30)・・・(9:50)出壺の清水(10:00)・・・(10:20)羽竜沼(10:30)・・・(10:45)請雨塔(10:55)・・・(11:20)桂清水(11:30) == (11:40)西蔵王展望広場(11:50) == (12:00)阿弥陀清水(12:10) == (12:20)そば処三百坊(昼食)(13:10) == (13:30)あこや公園(山形五堰/笹堰)(13:40)・・・(14:00)もみじ公園(抹茶で休憩)(14:40) == (14:50)七日町御殿堰(15:10) == (15:20)山形城跡(15:50) == (16:00)男山酒造(16:30) == (16:40)山形駅	

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】

【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
 <p>(弁財天畑谷) 慈覚大師が旅の途中休んだといわれる由緒ある水場で、年間を通して一定の水量を保つ湧水。遠方から汲みにくるファンが後を絶たない。</p>	 <p>(蔵王温泉) 2010年に開湯1900年を迎えた名湯。強酸性の硫黄泉で、特に皮膚病に効くことから「子どもが丈夫に育つ湯」、肌を白く滑らかにする効果もあるため「美肌の湯」とも言われている。</p>	 <p>(羽竜沼) 慈覚大師が雨乞いをした時、湖面から羽根のある竜が飛び立ち、雨を降らせたという伝説が残る沼。 (出壺の清水) 羽竜沼の伏流水とみられ、大きな杉の根元から湧き出る清水。</p>
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
 <p>(西蔵王展望広場) 扇状地の上に発達した山形市街地が一望できる展望地。蔵王山系からの水がいき渡り街が発達したことが見てとれる。天気が良ければ、月山、葉山、朝日連峰などの山々まで眺望できる。</p>	 <p>(山形五堰) 1624年、山形城主鳥居忠政公が城への水の給水や農業・生活用水の確保のため馬見ヶ崎川から取水した5ヶ所の堰で、その疎水は町民の生活や産業の発展に活用された。市街地を網目のように流れる堰は全国的に珍しく、清水にしか見られない梅花藻も見ることが出来る。 (梅花藻) 清流に育つキンポウゲ科の多年草。7月ごろに可憐な花が咲く。この花が梅の花に似ていることから梅花藻と名づけられた。</p>	 <p>(もみじ公園) 城下に注ぎ込む笹堰を利用して造られた元真言宗の巨剎宝幢寺(ほうどうじ)の池泉回遊式庭園。寛文の頃、時の城主松平下総守忠弘公が江戸の庭師と共に本丸改修工事の余石と吉野のもみじを使って造り直したとされている。明治時代に廃寺となった後、「もみじ公園」として一般開放されている。 園内には茶室「宝紅庵」が併設されており、抹茶をいただくことができる。</p>

【ポイント7】	【ポイント8】	
		
<p>（山形五堰／御殿堰）（七日町御殿堰） 御殿堰は、山形城のお濠を満たすため、城を目指して東から西へと流れている堰であった。ここから「御殿」の名がつけられている。現在、堰をせせらぎが見える水路として整備しており、これに合わせ、楽しく情緒あふれる憩いの空間として、堰の景観を利用した商業施設「七日町御殿堰」の開業が2010年4月に予定されている。</p>	<p>（山形城跡） 第11代山形城主最上義光公が城の基礎を築き、その後鳥居忠政公の時代に現在の形に改築された。城を囲む堀に山形五堰の御殿堰と笹堰の水が利用され、現在も豊富に水をたたえている。</p>	<p>（男山酒造） 寛政元年創業の老舗酒造店。蔵王山系より発して最上川に流れ込む馬見ヶ崎川の扇状地に位置し、敷地内の地下100mから汲み上げたミネラル分を多量に含む硬水で良質の辛口酒を造り出している。酒造見学と試飲ができる。</p>

【水の里の旅コンテスト2010 エントリーシート】

平成22年2月4日

【応募者】 団体名：新庄市商工観光課 所在地：山形県新庄市沖の町10番37号 TEL/FAX：TEL 0233-22-2111 内線252 FAX 0233-22-0989 担当者：主事 庭崎佳子 メールアドレス：syoukou@city.shinjo.yamagata.jp 登録旅行業：第 ー 号（旅行業者の場合のみ、ご記入ください。） （ANTA会員の場合は、右もご記入ください） 会員登録番号： ー	国土交通省 土地・水資源局 水資源部 水源地域対策課 受付欄 （記入不要） <div style="font-size: 2em; color: red; text-align: center;">1 1</div>
---	--

【タイトル/サブタイトル】	【都道府県名】	【観光地域名】
和の水辺のロマンチック街道 ～最上川今昔物語～	山形県	・新庄市本合海地区 ・戸沢村
【活かそうとしている「水」の特性・特徴】 ・俳聖・松尾芭蕉が訪れた水辺を芭蕉が最上川下りをしたのと同じ日に下る。 ・水に関わる民話を聞き、先人と水との関わりを知り、楽しむ。		
【日程】	1. 日帰り ②. 一泊二日 3. 二泊三日 4. その他（ ）	
【旅の目的】	俳聖・松尾芭蕉がたどった水辺を同じ季節に訪れる。	
【実施時期】	春・夏・秋・冬・通年 / (実施時期：7月19日(月・祝)～7月20日(火))	【催行人員】 20名(最少催行人員：15名)
【原価】	内訳 ガイド料500円(2日分) + 語り部への謝礼500円 + 最上川と歴史センター入館料300円 + 昼食1000円 + 舟下り代2,310円 + 宿泊費10,650円 + バス代	
【販売価格】	円 大人1名	【子供料金】 有 (円/1名) ・ 無 (旅行業登録のある場合のみ記入)
【旅行企画のセールスポイント】		
・俳聖・松尾芭蕉が321年前に最上川を下った記念すべき日7月19日に最上川を下る。		
【企画協力(後援)機関・団体名/主な役割】		
① NPO 新庄ボランティアガイド協議会 / 同行して各観光地を案内する	⑤	/
② 新庄民話の会 / 民話語り	⑥	/
③ /	⑦	/
④ /	⑧	/
【催行日程】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【観光ポイント】	— 水の里の旅コンテスト2010エントリーシート別紙の通り —	
【特記事項】	・水辺、森を歩きますので歩きやすい恰好でのご参加をお願いします。 ・バス代や保険料など旅行会社との相談になります。	

【エントリーシート 別紙】

【行程表】	
1日目	新庄駅 → 新庄ふるさと歴史センター(民話体験) → 柳の清水 → 昼食(そば) → 最上川舟下り → 対岸に渡り最上川遊歩道を散策 → 草薙温泉
2日目	草薙温泉 → 幻想の森 → 本合海(矢向神社・人面岩) → 新庄駅
3日目	なし
4日目	なし

【主な観光ポイント(観光地・観光箇所の歴史、由来など)】		
【ポイント1】	【ポイント2】	【ポイント3】
新庄ふるさと歴史センター 	最上川(笛吹き沼の伝説・芭蕉乗船の地) 	八向橋の人面岩 
【コメント】 雪国、祭、城下町の三つの視点から新庄市を紹介している市の観光拠点施設です。新庄まつりの優秀山車2台を常設展示しています。先人の知恵が受け継がれた民具・農具が2万点余り収蔵・展示され、懐かしい世界へと誘います。 民話の宝庫新庄に伝わる民話を語り部の名語りにのせて聞き、新庄の昔に思いをはせて、これからの旅に備えます。	【コメント】 山形県を代表する河川「最上川」は古くから交通運輸に利用され、松尾芭蕉や源義経が通った道としても有名です。 笛吹き沼伝説で、京から帰ってきた若い侍を乗せた船が動かなくなった所も最上川です。	【コメント】 最上川随一の景勝地八向橋の中腹に矢向神社があり、川舟の守り神として今でも人々に信仰されています。 昨年その岸壁に人の顔が浮かびあがりました。地元人々は、矢向神社の祭神日本武尊ではないかと噂されています。
【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
最上川舟下り 	草薙温泉 	幻想の森 
【コメント】 日本三大急流・最上川は古くから交通・水運の要として発達してきました。松尾芭蕉が舟でこの川を下りました	【コメント】 最上川を望む展望の温泉です。	【コメント】 巨木王国といわれる山形県を代表する巨木スポットです。土湯杉(神代杉)の奇形杉が群をなしている巨木の森です。